

第234回 番組審議会

1. 日 時 平成26年7月8日 (火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲 東の間」
3. 委 員 委員総数 11名
出席委員数 8名 (欠席委員数 3名)

○ 出席委員 (敬称略)

中村 慶久 (委員長)
竹中 陽一 (副委員長)
—以下50音順—
石田 征広
加藤 裕一
菅原 正二
八木橋 伸之
役重 真喜子
吉田 浩次

○ 会社側出席者 (7名)

佐藤 滋樹 (代表取締役社長)
小原 忍 (専務取締役)
前田 秀男 (取締役技術局長)
藤原 銀司 (取締役)
工藤 浩 (取締役営業局長)
佐藤 泉 (岩手めんこいテレビ報道部副部長)
吉田 沙織 (めんこいエンタープライズ制作部)

○ 事務局 佐々木 久仁子

4. 議題 「いわて食サンド～サンドウィッチマン×岩手のなるほど食～」

平成26年6月8日(日) 12:00～12:55放送

5. 議事概要

今回は6月8日(日)放送の『岩手食サンド サンドウィッチマン×岩手のなるほど食』を審議しました。議事の概要は以下の通りです。

●岩手めんこいテレビ 佐藤プロデューサーからの説明

・今回の番組は、お笑いコンビのサンドウィッチマンに出演してもらい「見た人が元気になれる番組を作りたい」というところから企画がスタートした。

・サンドウィッチマンの伊達さんの奥様は、元めんこいテレビの熊谷麻衣子アナウンサー。他局ではできない夫婦共演を実現し、また熊谷アナウンサーが出演することでサンドウィッチマンが岩手に来ることが自然な流れになればいいと思い企画した。サンドウィッチマンと熊谷さんがロケに出かけ生産者と触れ合う形が良かったが、スケジュールの都合で今回はかなわず残念だった。

●めんこいエンタープライズ 吉田ディレクターの説明

・震災復興支援につながる番組として、まずめんこいテレビらしくテンポ良く明るい感じで笑顔を届けたい、2つ目は生産の受注につながることをしたい、そして3つ目は沿岸の北から南までの方たちに触れ合ってもらいたい、この3点をポイントにして制作した。

・この番組がきっかけとなり出演頂いた4名の生産者がそれぞれ交流を持ち、新たな商品開発やコラボの相談をしている。また県内の別の企業の方から「次は番組に出てみたい」との声も頂いた。これらの報告を受け、大変嬉しく思った。

●出席した委員からの意見

・食と笑いのコンビネーションというのは上手い組合せだと思う。新たな食材開発や復興支援につながったことも評価できる。

・娯楽性を与えながら岩手の珍しい食材を紹介しており、興味深く見る事ができた。また

他のものも紹介してほしい。

- ・被災したという背景を少しわかる程度に抑えた作りに好感が持てた。
- ・収録会場や出演者についてのシチュエーションがわからず、見ていて“置いていかれる”と感じる部分があった。
- ・サンドウィッチマンのスケジュールの制約があったのかもしれないが、生産者が一番生き生きするお店や工場に出かけて取材することができれば良かった。
- ・番組で紹介した食材について、どこで買えるのか、値段や問い合わせ先をきちんと表記してほしいかった。
- ・収録場所が畳敷きの宴会場で、セッティングがちょっと田舎っぽくアンバランスな感じがした。せつかくなら海が見える会場を使用した方が良かったのではないかな。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

※平成26年7月9日（水）産経新聞 東北版

※平成26年7月19日（土）午前4時から4時15分まで「めんこいテレビ批評」として放送

※据え置き書類を作成し、本社受付に置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

8. その他の参考事項

特になし